

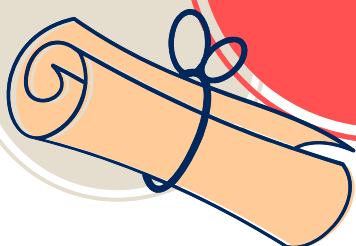
令和6年度

社会教育課



社会教育事業報告

郷土資料館



読書推進課



恵庭市教育委員会

－ 目 次 －

1. 社会教育課

(1) 家庭教育	P. 1
(2) 青少年教育	P. 3
(3) 成人教育	P. 5
(4) 高齢者教育	P. 6
(5) 女性活動支援	P. 9
(6) 地域教育	P. 10
(7) 文化振興	P. 11
(8) 公民館	P. 14
(9) かしわのもり	P. 17

2. 読書推進課

(1) 読書推進	P. 20
----------	-------

3. 郷土資料館

(1) 郷土資料館	P. 30
-----------	-------

【社会教育課】

領域：家庭教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	家庭教育支援事業	5月18日	えにあす	147名・大人と子ども	家庭教育ナビゲーターが中心となり、子育てや家事など様々な話題で交流を行いながら、緩やかな学びあいの場「はびナビカフェ	4	[主催] えにわはびナビネットワーク
		6月12日	えにあす	(前年度81名・大人と子ども)	あたしん家」を実施し、市内の保護者すべてが学びの機会に触れることができる環境を整備。		[支援] 社会教育課
		7月17日	いくみ会館		・5月18日「ふれあいサロン おはな」		[協力] NPO法人 まちづくりスポ
		7月20日	えにあす		・6月12日「フリ子の会 6日目(フリーランスな子にフリまわ		ト恵み野
		8月4日	えにあす		されている(笑)親の会)」		NPO法人 おはな
		8月10日	えにあす		・7月17日「放課後かふえ『秘密基地』」		
		8月18日	えにあす		・7月20日「ふれあいサロン おはな」		
		8月28日	いくみ会館		・8月4日「幼稚園情報交換会)」		
		9月21日	えにあす		・8月10日「ふれあいサロンおはな」		
		9月25日	いくみ会館		・8月18日「フリ子の会 7日目(フリーランスな子にフリまわ		
		10月12日	えにあす		されている(笑)親の会)」		
		10月23日	いくみ会館		・8月28日「放課後かふえ『ひみつきち』」		
		11月16日	えにあす		・9月21日「ふれあいサロンおはな」		
		11月17日	えにあす		・9月25日「放課後かふえ『ひみつきち』」		
		11月27日	いくみ会館		・10月12日「ふれあいサロン おはな」		
		12月14日	えにあす		・10月23日「放課後かふえ『ひみつきち』」		
		12月25日	いくみ会館		・11月16日「ふれあいサロン おはな」		
		1月18日	えにあす		・11月17日「フリ子の会 8日目(フリーランスな子にフリまわ		
		1月29日	いくみ会館		されている(笑)親の会)」		
		2月11日	市民会館		・11月27日「放課後かふえ『ひみつきち』」		
		2月22日	えにあす		・12月14日「ふれあいサロン おはな」		
		2月26日	いくみ会館		・12月25日「放課後かふえ『ひみつきち』」		
		3月15日	えにあす		・1月18日「ふれあいサロン おはな」		
					・1月29日「放課後かふえ『ひみつきち』」		
					・2月11日「はびナビカフェ」		
					・2月22日「ふれあいサロン おはな」		
					・2月26日「放課後かふえ『ひみつきち』」		
					・3月15日「ふれあいサロン おはな」		

継続	*えにわままっぷ	11月30日	北海道文教大学 鶴岡記念講堂 多目的室・911教室	70名・大人と子ども	えにわままっぷ実行委員会が中心となり、親子を対象に子育てに役立つ体験や、子どもたちが遊べるスペースを提供。 ・子どもの遊び場 新聞プール、段ボール積み、運動遊び、 お絵かきコーナー、休憩スペース ・ばばま大学 北海道文教大学地域未来学科 吉岡 亜希子 教授による講演 テーマ「心がふわっと軽くなる子育てって？ ～現役ばばの話も聞けるよ！～」	39	[共催] えにわままっぷ実行委員会
継続	家庭教育支援者の養成と ネットワーク活性化事業 *家庭教育支援者養成講座・ スキルアップ講座	2月11日	市民会館大会議室	32名	家庭教育支援者の役割や心構えについて学び、家庭教育に対する興味関心を高め、新たな担い手を育成する。また、情報交流を通じて、家庭教育支援活動等の一層の充実を目指す。 ・講座① 「アサーションを中心としたコミュニケーション方法とは？」 ・講座② 「親子のコミュニケーションのヒントにもなる！？話の場の作り方～安心して参加できる話し合いについて～」 ・講座③ 「つながりのヒント！気質って何？違いを楽しく知る ～花のまち恵庭を”ohana”のまち恵庭に～」 ・講師①石狩教育局 只野 浩太 氏 ②はびナビネットワーク 代表 平井 梓 氏 ③はびナビネットワーク 副代表 石上 一美 氏	40	[協力] えにわはびナビネットワーク 石狩教育局

領域：青少年教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	少年の主張中学校大会	5月21日	恵み野中学校（R6年度 中文連事務局校）	市内中学校各1名(5校)	青少年が日常生活の中で体験し考えている事柄を広く発表する機会を設けることで、青少年の自我形成を助長するとともに、あわせて青少年の健全育成に対する市民の理解を深める契機となることを目指す。 表彰：最優秀賞1名、優秀賞4名 最優秀賞 数馬灯里さん 恵み野中学校3年 「未来に咲く今」 ※石狩地区大会 最優秀賞 全道大会 最優秀賞	18	[主管] 中学校文化連盟 [審査員] 教育委員会教育長 青少年育成市民の会会長 校長会会長 教育研究協議会会長 中学校文化連盟会長
継続	えにわっ子ジュニアセミナー 2024				市内小学生が、レクリエーション活動、野外活動、ボランティア活動など、地域の子どもたちのリーダーとしての役割を担うため、必要な知識や技能、社会性を異年齢との交流、宿泊体験、集団行動を通じて学ぶ。 シニアリーダー「つくしの会」が中心となり、野外活動や、話し合いの手法など、遊びを交えながら互いに研鑽する。野外炊飯やその他自然環境、集団生活活動、様々な育成活動に適した日高青少年自然の家を活用。	337	[共催] 恵子連
	* 前期	8月10日 ～12日	国立日高青少年自然の家	市内小学5年生～中学2年生 20名(前年度21名)	※スタッフ 市教委1名、恵子連8名（内、つくしの会4名）、講師1名		
	* 後期	2月22日 ～24日	札幌市青少年山の家	市内小学5年生～中学2年生 18名(前年度27名)	※スタッフ 市教委1名、恵子連25名（内、つくしの会16名）、講師1名		
継続	2025年恵庭市はたちのつどい（旧 成人式）	1月12日	市民会館大ホール	477名 (前年度522名)	式典を通して、成人としての自覚を持っていただくとともに、ふるさと「恵庭」への愛着を一層高めることを目的として実施。 ・アトラクション（恵庭紅鴉） ・式典 ※実行委員企画（ビデオメッセージを頂いた恩師へ、参加者からのメッセージを集め、取りまとめて送付）	625	対象者：法改正後も20歳の市民を対象。 平成16年4月2日～ 平成17年4月1日生まれの方
継続	青少年表彰事業	9月13日 (審査日)		青少年団体活動者賞(個人) 2名 ※青少年善行者賞、青少年団体活動者賞(団体)、優良勤労青少年賞 申請なし	恵庭市の青少年健全育成に貢献された方々を顕彰。文化功労者・スポーツ功労者表彰と合同で実施。 ◆ 青少年団体活動者賞（個人） ・葛西 瑛梨香（恵庭市子ども会育成連合会） ・大角 穂歌（恵庭岳太鼓保存会）	83	

継続	青少年育成事業	通年			青少年・文化振興基金を運用し、各種補助金の交付を行う。	297	
	* 青少年育成事業補助金				■青少年の健全育成に関わる各種事業に対し、審査委員会で審議のうえ、補助金を交付する。 ■交付事業（6月25日審査決定） ・スウェーデン・ロシアを迎える会 （スウェーデン・ロシアを迎える会実行委員会） ・Y O S A K O I ソーラン体験！えにわっ子まつり （恵庭紅鴉） ・どっかーん！ロケット発射！こいのぼり製作 （認定NPO法人まちづくりスポット恵み野） ・みんなでチャレンジ！キッチンガーデン （認定NPO法人まちづくりスポット恵み野） ・北海道歴史舞台 絆花 ～中山久蔵翁物語～ （（一社）未来工房）		
継続	子ども会育成連合会支援事業 （恵庭市子ども会育成連合会 運営費補助金）	通年			■各町内会育成部(子ども会)の連合組織である子ども会育成連合会の活動を育成支援することで、青少年健全育成を推進する。 ・啓発、研修活動 ・えにわっ子ジュニアセミナー(共催事業)	588	
継続	青少年育成市民の会支援事業 （恵庭市青少年育成市民の会 運営費補助金）	通年			■青少年健全育成に係る啓発事業、並びに青少年国際交流事業の推進に係る活動を支援する。 ●夏の青少年健全育成強調月間関係(7月) ・強調月間周知ポスターの作成・掲示 ・道青少年健全育成条例に基づく立入調査（7月23日） ●秋のこどもまんなか月間啓発事業関係(11月) ・強調月間周知ポスターの作成・掲示 ・道青少年健全育成条例に基づく立入調査（12月20日） ・恵庭市青少年育成市民のつどい（11月9日） 市民に対し、青少年団体等の活動発表等を通して、青少年の健全育成への理解を深め、青少年活動の一層の推進を呼びかける機会とする。 【活動発表関係団体等】 ①中村和子バレエスタジオ ②少年の主張（全道最優秀作品：恵み野中 数馬さん） ③恵庭少年少女合唱団 ④北海道恵庭南高等学校 吹奏楽部 ●国際交流派遣事業(ニュージーランド・ティマル市) ・派遣者：3名（恵庭北高等学校2名、恵庭中学校1名） ・派遣期間：令和7年3月15日～4月4日 ・前派遣者による募金活動の実施(5回)	79	

領域：青少年教育（「恵庭子ども塾」関連）

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	おもしろ理科実験教室	6月16日	恵庭市民会館大会議室	午前子ども27名・小学2～6年生 午後子ども27名・小学2～6年生 (前年度52名)	理科実験を通じて科学に親しみ、「不思議」を子どもが体験することで、探求心や学習意欲を高める。 小学2～6年生対象 ①バスボム(入浴剤)づくり ②ふしぎな万華鏡づくり ③夕焼け色のふしぎ	39	[協力] 千歳科学技術大学理工工房
継続	えにわ大好き！食の体験ランド	9月29日	北海道文教大学 しみずファーム	子ども25名・小学4～6年生 (前年度子ども23名)	テーマ食材を決め、畑での収穫体験や大学での調理体験、ワークショップを行い、生産者と消費者の繋がりや、地産地消について学習し、食についての理解を深める。 テーマ食材：じゃがいも ①北海道文教大生による食育クイズ、ワークショップ ②調理体験 ③ルーキーズカンパニーによる農場体験 (じゃがいも・かぼちゃ収穫、農業機械による収穫を見学)	79	[共催] 北海道文教大学 ルーキーズカンパニー
新規	ロボット操作体験	1月10日	公民館	5名	前半はAIについての講習、その後、架空動画をパソコンを使って体験した。後半は、全員で地上ドローンの操作体験をした。受講者の児童からは、「AIについてもっと知りたい」「AIは人間のために役立っている」「ITの関わる仕事がしたい」などの感想が聞	57	
新規	春休み アートであそぼ！	3月22日	北海道ハイテクノロジー専門学校 恵庭RBPセンタービル	子ども11名・小学4、5年生	身近な技術となってきた最新技術について学ぶことで、ハイテク技術への興味関心を持ってもらう。また、自らの手で芸術作品を制作することで、子どもたちの芸術文化への興味関心を高める。 講師：北海道ハイテクノロジー専門学校 宇宙・ロボット学科専任教員 齊藤 雄大 氏、学生数名、 彫刻家 鈴木 吾郎 氏、画家 鈴木 比奈子 氏 内容：（午前）空中・地上ドローン、産業用ロボット操作体験、AIアプリで架空動画作成等 （午後）切ったり貼ったりした紙を吊るし、空間構成	92	[協力] 北海道ハイテクノロジー専門学校

領域：成人教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	えにわ学講座				内容：恵庭の歴史や魅力などを総合的に学ぶ。 テーマ：『恵庭を再発見～記念碑・野外彫刻から』 講 師：農学博士、恵庭市文化財保護委員会委員 土屋 武彦 氏 コース：開拓記念公園→中恵庭出張所→恵庭神社遙拝所・ イザリブト番屋→総合体育館→恵庭駅→ユカンボシ川 河畔公園	50	※長寿大学生が参加した場合は単位として認定。
	* 前期	9月30日	恵庭市内（視察）	29名 (前年度17名)			
	* 後期	3月17日	夢創館	36名 (前年度23名)	テーマ：『しままつの歴史』 講 師：鶴田 力 氏（島松仲町町内会長 元島松郵便局局長）		

領域：高齢者教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	長寿大学(大学・大学院) 4～9月(前期分) ※年間21回				高齢社会にふさわしい学習の機会を拡充し、高齢者が生きがいを見つけ、社会活動に参加し、健康で楽しい生活ができることを目指す。H14年度より大学院を設置。R6年度は、新入生22名・大学院生8名が加わり、学生総数92名(男24名・女68名)により学習を開始した。	739	
		4月10日	中ホール	87名	■入学式・始業式 (今年度学生総数 92名で始業 ※内新入生22名、大学院進級生8名)		
		4月24日	中ホール、大会議室	77名	■学年別研修（※学年別ホームルーム） 各学年ごとの交流を深めながら、学年内行事等について話し合った。1年生については、大学事務局が進行を担当し、学年幹事の選出に係わっては、自治会事務局も同席した。そのほかの学年は各学年幹事が担当。		
		5月8日	中ホール	77名 ※オープンカレッジ 4名	全体学習（※市民オープンカレッジ）「高齢者に必要な災害時の備え～東日本大震災を経験して～」 講師 河原畑 尚美 氏（日本医療大学）		※全体学習を「市民オープンカレッジ」として一般市民に有料公開
		5月29日	大会議室、ゴミ焼却施設	81名	①生活文化「となりの外国人とどのように接するか」 講師 青 晴海 氏（北海道文教大学） ②まちづくり「焼却施設の見学（ゴミ分別の話）」 講師 石丸直稔・伊藤大真 氏（市廃棄物管理課）		
		6月12日	中ホール、大会議室	75名	①生活文化「高齢化社会でのICT化の利点と課題」 講師 由水 伸 氏（星槎道都大学） ②まちづくり「DIG-災害発生から避難所へ向かう防災訓練」 講師 谷口和三 氏（市基地防災課）		

		6月19日	市外施設見学	27名(1年14名、2年13名)	■前期研修旅行 (円山動物園、大倉山展望台・札幌オリンピックミュージアム)		
		6月27日	中ホール、大会議室、 恵庭市立図書館	74名	①高齢生活「現代のこども・若者のこころと関わり方」 講師 神 直子 氏 (北海道ハイテクノロジー専門学校) ②高齢生活「上手な医療の関わり方～人生の最後まで自分らしく 過ごすために～」【連続講座】 講師 甲斐昌恵・佐々木太一 氏 氏 (連携センター りんく) ③まちづくり「図書館サービスの紹介と実践」 講師 神 百合愛 氏 (恵庭市立図書館)		
		7月17日	大会議室、恵み野地区	72名	①一般教養「動物たちのしたたかな生きざまを北海道の両生類から学ぶ」 講師 岸田 治 氏 (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター) ②まちづくり「恵み野地区花巡り」 講師 佐々木勇希 氏 (市花と緑・観光課)		
		7月25日	中ホール、大会議室、 恵庭市立図書館	69名	①生活文化「神秘の食品『乳』」 講師 大沼七海 氏 ((株)明治北日本支社札幌オフィス) ②高齢生活「“最後まで自分らしく過ごす”を支える～地域包括支援センターと在宅医療・介護の支援事例について」【連続講座】 講師 南葉子・越麻衣子 氏 (恵庭市みなみ地域包括支援センター) ③まちづくり「図書館サービスの紹介と実践」 講師 及川 歩 氏 (恵庭市立図書館)		
		9月4日	中ホール、大会議室	78名	■学年別研修(※学年別ホームルーム) 各学年ごとの交流を深めながら、9月以降の学習プログラムの確認や各種変更事項等について説明を行った。		
		9月18日	中ホール	72名 ※オープンカレッジ 8名	■全体学習(市民オープンカレッジ)「音楽のトボス～Duo TOPOS第3回演奏会」 講師 瀧山晃弘・寺長根ミカ 氏 (北海道文教大学・演奏家)		
		10月2日	中ホール、大会議室	78名	①高齢生活「早め早めの心不全予防」 講師 下岡良典 氏 (恵み野病院循環器内科心血管病治療センター長) ②まちづくり「恵庭の花のまちづくりについて、秋のと植栽体験」		※恵庭市健康づくり講演会を兼ねる(市保健課)
		10月8日	市外施設見学	27名 (3年9名、4年6名、院1年2名、院2年10名)	■後期研修旅行 (円山動物園、大倉山展望台・札幌オリンピックミュージアム)		
		10月16日	中ホール	70名 ※オープンカレッジ 1名	■全体学習 「物言わぬ石のカケラから知る北海道の歴史」 講師 大塚宜明 氏 (札幌学院大学人文学部人間科学科)		※全体学習を「市民オープンカレッジ」として一般市民に有料公開

		11月13日	中ホール	79名 ※オープンカレッジ 4名	■全体学習 「東洋医学による健康方法」 講師 常通道夫氏（北海道ハイテクノロジー専門学校スポーツ鍼灸師学科）		※全体学習を「市民オープンカレッジ」として一般市民に有料公開
		12月4日	中ホール、大会議室	71名	①高齢生活「自分の歩行を見直してフレイル予防：歩き方からわかる健康のサイン」 講師 佐々木幸子氏（北海道文教大学医療保健科学部） ②一般教養「恵庭市史を読む～明治から平成～」 講師 林 嘉男氏（恵庭昭和史研究会）		※恵庭市介護予防講演会を兼ねる（市介護福祉課）
		12月18日	中ホール	66名 ※オープンカレッジ 13名	■全体学習 「光る君への世界～一条帝と定子・彰子～」 講師 田中幹子氏（札幌大学地域共創学群）		※全体学習を「市民オープンカレッジ」として一般市民に有料公開
		1月15日	中ホール、大会議室	70名 ※お手伝い 24名	①自主学習「見えない恵庭での暮らしかた」 講師 松本留美子氏（大学3年生） ②自主学習「生涯学習としての詩吟を」 講師 小幡トモエ氏（大学3年生） ③高齢生活「太極拳」 講師 佐藤登代子氏（長寿大学OG）		
		2月12日	中ホール	67名	■全体学習 「長寿大学の歌の練習」 講師 尾形陽子氏（恵庭女声コーラス指揮者）		
		3月5日	中ホール、大会議室	65名	■学年別研修（※学年別ホームルーム） 令和7年度講座の履修希望の確認、新年度オリエンテーション、卒業式・修了式について説明を行った。 その後、学年ごとに次年度に向けての話し合いを行った。		
		3月14日	中ホール	72名	■行事 卒業式・修了式 今年度より終了式の意味も含め、全学生が参加して実施した。		

領域：女性活動支援

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	女性団体活動者研修会	7月19日	市民会館大会議室	36人 (前年度 26人)	■趣旨：明るく健やかな地域社会の確立において、女性の果たす役割は大きく、必要不可欠となっていることから、地域における女性活動の活発化を図るため、広い視野での情報・知識習得の機会を提供する。 テーマ：チョコレートの世界へようこそ！ ～持続可能なカカオづくり～ 講師：(株)明治 北日本支社 札幌オフィス企画部 ダイレクトリレーションニ課 食育担当栄養士 堤 秀子 氏, 宇井 実華 氏 内容：持続可能なカカオづくりや効能、消費量等を学ぶほか、チョコレートのテイスティングを行った。	8	[共催] 恵庭市地域女性連絡会
継続	女性人材育成セミナー	3月8日	市民会館中会議室	30人 (前年度22人)	■趣旨：地域で様々な活動に関わる特に女性の方に、より充実した活動を進めていただけるよう広い視野での情報や知識、技術を提供し、育成及び支援を図ることを目的とする。 テーマ：女性と漢方 ～女性特有の不調には漢方がオススメです～ 講師：鶴岡 千咲 氏 (漢方薬剤師・ヘルスケアアドバイザー、札幌市在住) 内容：冷えたり、むくんだり、イライラしたり、肌が荒れたり 々な不調に悩む女性に、不調の改善を得意とする「漢方について、正しい知識と有用な使い方を理解する機会とする。	45	
継続	恵庭市地域女性連絡会支援事業 (恵庭市地域女性連絡会運営 費補助金)	通年			■女性団体の自主的活動を助長し、女性の地位向上に寄与するとともに、連携を深め家庭・地域における女性問題の課題解決に向けた取り組みを支援することで、女性活動の推進強化を図る。	48	

領域：地域教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第1回）	6月23日	恵庭市民会館(大会議室)	学校関係者や地域の方々 45名 (前年度57名)	平成29年度から令和3年度までの5ヵ年にて、全小中学校へ学校運営協議会を設置。地域住民や保護者が学校と足並みを揃え、一体となって子どもたちの成長に関わっていく体制づくりに向け、「～恵庭市の学校・地域をつなぐ～コミスクかふえ！」を開催。学校運営に保護者や地域住民が参画することで、子どもや学校、地域が抱える課題の解決を図る。 ①講演：子どもと育つ地域の未来 講師：北海道大学大学院 教育推進機構講師 佐々木 直人 氏 ②グループトーク	47	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちづくり 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会
継続	恵庭地区通学合宿	8月29日 ～9月1日	いくみ会館	11名・恵庭小学校4～6年生 (前年度18名)	○家庭をはなれ集団生活を送る中で様々な生活体験活動を中心に地域の大人との顔の見える交流を深めると同時に異学年の友達と交わることによって、自立心・協調性・問題を解決する力・がまんする力を養うきっかけづくりとする。 ○地域の大人で通学合宿を通して同じ学区の大人同士の交流を図りながら「地域の子どもは、地域の大人が育む」という意識の広がりを進める。 ○地域の組織・団体・個人が繋がり、多様な課題を解決できる地域を目指す。	11	[主催] 恵庭地区通学合宿実行委員会
継続	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第2回）	11月28日	恵庭市民会館(大会議室)	学校関係者や地域の方々 32名 (前年度36名)	①講演：市内小学校の事例発表 講師：島松小学校 教頭 山田 玲司 氏 ②グループトーク	6	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちづくり 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会
継続	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第3回）	1月28日	恵庭市民会館(大会議室)	学校関係者や地域の方々 42名 (前年度23名)	①講演：市内小学校の事例発表 講師：和光小学校 教頭 山田 智嗣 氏 ②グループトーク	6	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちづくり 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会
継続	恵庭市地域学校協働活動推進にかかわる協力団体・機関向け説明会 (～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第4回）)	3月19日	恵庭市民会館(大会議室)	地学協働活動推進にかかわる協力団体・機関や 地域学校協働推進員16名	市内各校の地域学校協働活動を支える全市的な協力体制の構築を目的とした情報共有・意見交換を含む市教委主催の説明会を行った。	10	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちづくり 恵み野)

領域：文化振興

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	第69回えにわ市民文化祭			総来場者数：3,080人 (前年度総来場者数：2,941人)	文化団体、サークル等が日頃の活動成果を発表し、文化の輪を広げ地域文化発展に資する。	1,289	
		10月4～6日	市民会館	925人 ※来場者数 (前回 523人)	文化協会・市民講座・公民館サークル・一般の出展 (29団体 計296人の出展)		
			島松公民館 (島松公民館まつり)	482人 ※来場者数 (前回 408人)	市民講座・公民館サークル・一般の出展 (9団体 計79人の出展)		
			夢創館	109人 ※来場者数 (前回 118人)	恵庭美術協会の出展 (1団体 計45人の出展)		
		10月19～20日 11月3日	市民会館	展示部門総来場者数：1,516人 806人 ※来場者数 (前回 809人)	総出展者数：38団体 計420人 文化協会・市民講座・一般の出演 (28団体 計315人の出演)		
			島松公民館 (島松公民館まつり)	758人 ※来場者数 (前回 754人)	文化協会・市民講座・公民館サークル・一般の出演 (16団体 計129人の出演)		
				舞台部門総来場者数：1,564人	総出演者数：44団体 計444人		
継続	文化活動奨励補助金交付事業 (文化活動奨励補助金)	通年			■青少年・文化振興基金を運用し、文化事業の健全な発展に資する対象事業に対し、補助金を交付する。なお、補助交付の申請を受けた事業については、文化活動奨励補助金審査委員会で審査する。 ■交付事業（8月7日審査） ・そら（奏楽）コンサート（NPO法人島松夢創館倶楽部） ・Bill Ringsライブ（恵庭ライブミュージック実行委員会） ■交付事業（1月23日審査） ・サトシン絵本ライブとおてて絵本（サトシン絵本ライブ実行委員） ・恵庭紅鴉25周年記念公演（恵庭紅鴉）	600	事業交付予算限度額60万円
継続	文化功労者表彰事業	9月11日 9月26日 (審査会)	市民会館応接室	文化奨励賞 3人 文化振興賞 2人 計5人 ※文化賞 申請なし	◆文化奨励賞 高崎 勝司 氏（芸術：美術） 本郷 隆夫 氏（芸術：美術） 数馬 灯里 氏（芸術：文芸・弁論） ◆文化振興賞 大久保 貢 氏（芸術：詩吟） 沼田 俊子 氏（教育：社会教育）	182	
継続	文化団体の育成 (文化芸能・郷土芸能団体)	通年			・文化協会事業費補助金 350,000円 ・恵庭すずらん踊り保存会事業費補助金 140,000円 ・恵庭岳太鼓保存会事業費補助金 300,000円（周年事業分増額）	790	
継続	文化・芸術共催事業	通年	市民会館大ホール		・村元絵美 Classic Tourism Vol.3（5月19日） ・第29回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト予選第15回北海道大会（12月21日）	0	市の役割 ・会場の減免 ・広報活動支援
			夢創館		・徳田貴子ピアノリサイタル ～グラジナ・パツェヴィチの系譜（10月27日） ・浅沼恵輔ピアノリサイタル（3月2日）		

継続	えにアート・ギャラリー	通年	花の拠点(はなふる)	はなふる展示 2件 ・はるこばあばの針仕事 (令和6年 7月19～31日) ・恵庭南高校美術部展 (令和6年 3月18～24日)	恵庭市内で文化芸術活動に励んでいる方の発表の場並びに、市民が文化芸術作品に触れる場を増やすことを目的に、花の拠点ははなふるの空き時間に一部スペースを借り上げ、発表場所として提供している。	0	
継続	恵庭市の文化を語る会	第1回 12月12日 第2回 2月3日	夢創館 北海道文教大学 鶴岡記念講堂 多目的室		第6期恵庭市生涯学習基本計画（R8～R12）の策定を見据え、これまでの「文化政策としての文化芸術活動」もおさえつつ、今年度は特に「生涯学習政策としての文化芸術活動」に焦点を当てる。語る会の参加者には、自らの活動を通して、自らが恵庭市の“市民文化”及び“地域文化”の作り手となっていること、さらには“文化芸術活動を通したまちづくり”の担い手となっていることを認識していただき、そのうえで、広く恵庭市民の生涯学習推進における文化芸術活動の意義、課題、展望に対する意見をいただいた。 ■第1回参加者：高橋 正彰（恵庭市文化協会会長） 石井 美季（ピアノ講師） 山口 龍二（チーム絆花代表） 鶴田 力（夢創館館長） 細川 知之（恵庭南高等学校吹奏楽部顧問） 武藤 光一（恵庭美術協会） ■第2回参加者：水高 和彦（恵庭美術協会） 川股 洋一（恵庭すずらん踊り保存会会長） 竹内 誠裕（エコフェス主催等） 松崎 正夫（恵庭混声合唱団） ■共通支援者：大塚 ひろみ（恵庭市文化協会事務局長） 水野 みどり（生涯学習コーディネーター） 三浦 真吾（夢創館倶楽部、地域FMいーにわ） ■共通進行役：小磯 修二 氏（北海道文教大学 地域創造研究センター長）	4	[共催] 北海道文教大学地域創造研究センター

	夢創館自主文化事業					0	<主催>
継続	* 手作り雑貨マーケット in夢創館 (第8回)	7月27日	夢創館	266名 (前年度 233名)	市内及び近郊の作家による、手作り雑貨のマーケットを例年開催。コロナ禍以降、集客も回復傾向にあり、今後も継続していく意向である。		夢創館指定管理者 〈島松夢創館倶楽部〉
	* 手作り雑貨マーケット in夢創館 (第9回)	12月7日		237名 (前年度 213名)			
新規	夢創館開館25周年JAZZコンサート	8月10日	夢創館	100名	夢創館開館25周年を記念して実施したコンサート。		
	夢創館開館25周年アンサンブル奏楽室内楽コンサート	10月18日		100名			
新規	夢創館クリスマス福祉コンサート	11月30日	夢創館	82名	福祉施設入居者向けに行ったコンサート。		
継続	オーロラ上映会	1月11日	夢創館	129名	オーロラを求めて、アラスカやカナダで写真撮影を行っている中垣哲也氏を招聘し、アラスカの自然・野生とリアルな超高品位オーロラ映像で講話と共に提供。連続写真等によるオーロラの動画が音楽と共に映し出され、小学生から高齢者までの幅広い参加者が魅了された。世代間交流と自然科学学習の両面の成果が得られた。		
継続	夢創館連携事業 * いきいき100歳体操	第1・3 月曜日 10時～	夢創館	25回実施	いきいき百歳体操は座ったままできる介護予防の体操であり、公民館や島松支所で行っていた100歳体操を夢創館でも今年度より開催した。居場所としての機能もあり、人の流れにもつながった。	0	<連携> 夢サロン

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	市民講座		社会教育施設等4会場		◎市民に基礎的な知識、技能を身につけていただき、学習を通して学ぶ喜びを味わい、生活に潤いと張りを持ち、講座生相互の触れ合いの中からより豊かな人間性を身につける学習活動を進める。 講座数：12 1回学習時間：2時間程度、毎月2回、年20回開催	2,255	
		I 期 4～9月		165名（166名）			
		II 期 10～3月		168名（171名）			
継続	公民館外国語講座		市民会館		◎外国語の基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る機会とする。	114	
	* 英会話基礎講座（前期）	5～6月		16名（10名）	小6～中1程度の英会話		
	* 英会話基礎講座（後期）	10月～11月		18名（11名）	中1～中3程度の英会話		
継続	公民館サークル	4～3月	社会教育施設等9会場	264名（303名） * 28サークル（30サークル）	◎市民講座、各種講座での学習成果を継続しながら教養を高め学ぶ喜びを味わい、生活に潤いを持ち、サークル相互の輪を作り豊かな人間性を身に付ける学習活動を進める。	0	自主運営事業
	日曜趣味講座				◎平日の講座に参加できない市民に参加の機会をつくり、関心の高い「食」関連の事業を開催し、気軽に受講する。		
継続	* 「コーヒー焙煎講座」	10月6日		11名（17名）	コーヒーに関わる講話を聞き興味を持って、コーヒーの生豆を焙煎・ドリップを行った。	22	
新規	* 男の料理教室	9月28日		7名	参加者は、3つの簡単料理を終始熱心に調理に取り組み、レシピのプリントに調理方法などをメモする方もいた。	16	
継続	* そば打ち基礎講座	10月27日	公民館	大人4名、小学生2名（大人12名、小学生2名）	受講者はそば打ちの基礎的な知識・技能を知り、楽しくそばを打つ姿が見られた。	27	
新規	* み年手づくり年賀状講座	12月4日		6名	年賀状を書く方が少なくなっており予定していた人数には至らなかったが、参加者は十分満足した様子でこのような機会があったらよいと話されていた。	9	
	親子ふれあい教室			小学生と親	◎子どもたちに創作や遊びの技術を学ばせるとともに、作業を通じて親子が触れ合う機会とする。		
継続	* 「親子でクッキング」	5月11日		保護者7名、子ども8名 （保護者11名、子ども11名）	休憩も取らず、楽しそうにビザづくりに取り組み、親子の絆を深める様子も見受けられた。	15	
継続	* クリスマスケーキづくり	12月7日	公民館	保護者8名、小学生9名（保護者10名、小学生10名、中学生1名）	参加費を300円値上げして募集したが例年並みの参加者で実施することが出来た。どの親子も楽しそうに協働しながらケーキ作りに取り組み、作業を通して親子の絆を深めていた。	20	

	公民館IT講習事業			一般市民	◎自前のパソコンで、Word・Excelを使った簡単な文書作成や表計算の仕方などを学ぶ機会とする。 ◎スマートフォンの操作がよくわからない人を対象に使い方教室を行う。 ・ワード編・エクセル編ともに希望者が予定数を上回り、募集締め切りの翌日に抽選を行った。 受講者からは、パソコンの基礎を学びたいが機会が見当たらず、今回参加して有意義だったとの声が聞かれた。 高齢の受講者が多くスマートフォン講座はまだまだ需要があると思われたが、大学生との調整が課題。参加人数は予定より少なかったが、逆に一人一人の質問に答える時間が多くなり、現役大学生が講師となり、年配者に対して優しく丁寧に教えている姿が印象的で、世代を超えた有効な交流が出来き、参加者の満足度も高かった。		
継続	*パソコン基礎講座	5～6月	公民館	ワード編 8名（13名）、エクセル編 7名（10名）		58	
継続	*大学生によるスマホ教室（1回目）	10月26日	公民館	7名（7名）		25	
継続	*大学生によるスマホ教室（2回目）	3月15日	公民館	13名（20名）		27	
	公民館文化事業				◎気軽に良質なピアノ演奏を聴くことにより、音楽に対する興味・関心を高め、豊かな情操を養うと共に、芸術文化の振興を図る。 ◎ファミリーのふれあいや絆を深める。		
継続	*「みんなで楽しむピアノコンサート」	5月25日	公民館	90名（98名）	講師が曲や作曲家の紹介等を易しく説明しながらクラシック曲への興味を喚起してた。絵本「14ひきのかぼちゃ」の読み聞かせではピアノ演奏を織り交ぜ、参加者は楽しそうに見入っていた。	51	
継続	*クリスマスピアノコンサート	12月21日	公民館	106名（148名）	曲や作曲家に関わるエピソード等を易しく解説しながらクラシック音楽への興味を高めていた。また、絵本の読み聞かせは、ピアノ演奏も組込み、集中して観覧される方が多く見られた。「みんなで歌おう」の曲は、母親の心の癒しも図れるような曲も選択し、アルトサクソ奏者とコラボしたが、曲に迫力が増し、心地よいハーモニーを醸し出していた。参加者からも拍手が多く、大変好評だった。	61	
	くらしに役立つ健康講座				◎認知症の知識を深め、健康的によりよい生活を送るための方策を学ぶ。		
継続	*「楽しく学ぶ！認知症予防講座」	8月19日	公民館	9名（10名）	日常生活から「老化」を防ぐ知識や方法を取り上げ、参加者の興味と関心を高めることが出来た。また、講演中、簡単なワークシートや健康に関わるチェックリストを活用しながら楽しく自己の健康について認識を深めた。	14	
		8月28日	市民会館	10名（22名）		14	

	その他事業			市内小学生	◎軽スポーツを通して、親子・子ども達同士がなかよく触れ合う機会とする。また、障害者スポーツに対する理解を深める。		
継続	*「みんなで楽しむスポーツ講座」	8月9日 1月8日	公民館	29名（22名） 21名（30名）	長期休みにボッチャ・カローリング・軽スポーツ等の体験会を開催した。	5	
新規	*ロボット操作体験	1月10日	公民館	5名	5ページ再掲		
	公民館分館活動（島松分館）				◎公民館分館活動を通して地域交流の活性化を図ると共に、分館活動の支援に努める。	458	
継続	*子どもサマーキャンプ	7月27日	公民館	島松小4年生から6年生 30名	公民館の集会室を活用して防災キャンプを開催し。防災意識を高めた。		
継続	*島松公民館運動会	9月1日	かつら公園	島松分館会員 300名	運動会を通じて体力の向上を図るとともに地域の交流を図った。		
継続	*シニアパークゴルフ大会	9月29日	ルルマップゴルフ場	島松分館会員 25名	パークゴルフを通じて体力の向上を図るとともに参加者の交流を図った。		
継続	*島松公民館まつり	11月1日 ～3日	公民館	展示（来場者数）482名（408名）、（出展者数）9団体（8団体）79名（71名） 舞台（来場者数）758名（754名）、（出演者数）16団体（16団体）129名（138名） ダンスのタベ42名 実行委員会35名、バザー支援員39名	公民館まつりを通じて幼児から高齢者まで多くの地域住民が参加し、展示発表、舞台発表、バザー等を通じて地域の活性化を図り交流を深めた。		
継続	*女子ミニバレー大会	2月23日	島松スポーツセンター	選手20名 役員21名	冬季の運動不足を解消し、ミニバレーを通じて各分間相互の交流と親睦を図った。		

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	図書貸出	通年	緑のカフェ プレイスペース2 会議室、クラークルーム		〈経過〉 ○平成30年12月から平成31年3月まで試行により図書貸出を実施 ・平成30年度：48件 ○地域の方々の利用が一定件数あることから、令和元年4月より（当分の間）貸出を継続実施 ・令和元年度：85件 ・令和2年度：40件 ・令和3年度：44件 ・令和4年度：106件 ・令和5年度：182件 ・令和6年度：168件 ○かしのもり文庫への寄付申込（受付）状況（開設後：個人） 平成28年度：5件、平成29年度：17件、平成30年度：16件、令和元年度：8件、令和2年度：8件、令和3年度：14件、令和4年度：10件845冊、令和5年度：2件62冊、令和6年度：10件232冊	0	
継続	展示・情報提供	通年	エントランスホール 掲示版（廊下） 展示コーナー	来館者	・かしのもりフォトコーナー エントランスホールや廊下に、かしのもりで実施されたイベント、行事等の写真を展示した。 ・かしのもり情報コーナー 廊下の壁に設置されている掲示版を活用し、市等及び地域関係団体等から寄せられる啓発ポスターやイベント・行事参加案内等ポスターを掲示し、地域における情報発信の役割を担っている（通常、30～40件程度の掲示が可能）。 ・かしのもり展示コーナー 展示コーナーは、緑のカフェ読書コーナー向いの秋の庭側壁部分とし、照明・ビクチャーレールを設けている。 ・通年展示として「えにわ芸術文化宅配事業」の作品を、季節的に「恵庭市フラワーマスター協議会」の作品を展示。	0	

継続	【四季に応じたイベントの開催】						
	* 五月人形展示	4月16日 ～5月5日	緑のカフェ クラークルーム	来館者	施設保有の五月人形を展示し楽しんでもらった。 また、緑のカフェにて季節に合わせた手作り人形を展示し、飾り 楽しんでいただいた。	0	
	* 桜の開花鑑賞	4月26日 ～5月5日	春の庭	来観者	桜の開花時期（4月下旬から5月上旬）にあわせて、「春の庭」を開放し 自由に観ていただいたり、夜間ライトアップを午後8時まで実施しまし た。	0	
	* 緑のカフェ特別メニュー （桜まつり）		クラークルーム 緑のカフェ	来場者数250名	飲み物と団子のセットを提供し、春の庭の椅子テーブルを利用可 能とした。	0	
	* 抹茶体験 （桜まつり）		プレイスペース1 クラークルーム		公民館サークルお茶っこの会の協力により、「抹茶体験(有料)」 を実施。	20	
継続	* 七夕まつり	8月7日	春の庭 エントランスホール クラークルーム	主に子どもひろばに参加する 子どもたち 来場者157名	・子どもひろばに参加する子どもたちが手作りした短冊や七夕飾 りでクラークルーム内を装飾。 ・水鉄砲を使った射撃ゲーム、シャボン玉遊び、ヨーヨー釣り、 輪投げ等を実施。	20	
新規	かんたんデコバージュ作り	6月22日	会議室	参加者 16名	講師を招き、紙に描かれた絵を切り抜いてモチーフをつくり、家 具などに貼り付け上からニスを塗って仕上げる作業の体験をし た。	5	
新規	かしわのもり 秋まつり	9月29日	全館	来館者 247名	秋のイベントとして、団体対抗ゲーム（玉入れ競争・おたまり レー）、個人ゲーム（リング重き当てクイズ、バナナ早食い競 争）などで楽しんだ。販売ブースでは10店舗出店があり、喫茶 ではカレーライスなど特別メニューの提供もあった。	50	
新規	防災パン作り	10月26日	スポーツ練習場	参加者 7組14名	「災害時（停電と断水）でも、あたたかいパンが焼けるとしたら」を題材 として、パン作りを経験した。	5	
新規	クリスマスコンサート	12月8日	会議室	参加者 大人58名、小人50名	赤ちゃんから祖父母世代までみんなが楽しめる歌のコンサート。サンタさ んへの願い事をカードに書いてクリスマスツリーに飾ったり、製作もし た。 手作りマラカスをプレゼントして、歌・踊り・芝居・カラオケ・ピアノ演 奏と楽しいひと時を過ごした。	5	
継続	親子たいいく	3月24日	スポーツ練習場	定員20組	親子で楽しく体を動かしたり、講師から子どもの運動の発達や発育につい てお話を聞いたり、まだ歩き始めていないお子さんも対象に抱っこしなが ら参加して、 子どもの発育を図った。	1	

【読書推進課】

領域：資料収集・提供

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	資料の収集・提供 雑誌スポンサー制度	通年	全館	15件/28誌・企業、個人 (前年度18件/33誌)	企業や店舗・個人が社会貢献の一環として雑誌を提供する制度。提供雑誌の「最新号」のカバーと雑誌架にスポンサー名を表示、カバーの裏面に会社概要などを周知。		指定管理者実施事業
継続	情報提供サービスの推進 * インターネット及び 各種データベースの利活用	通年		通年	インターネットや各種データベースの活用促進を図り、利用者の嗜好に応じた新着図書情報や過去の貸出記録が管理できる機能を提供する。		指定管理者実施事業
	* 新着図書情報データ 配信サービスの実施	通年		通年			
	* 読書履歴管理機能の活用	通年		通年			
継続	電子図書館	通年		4,383冊（前年度2,809冊）	インターネットを通じた電子書籍の貸出。		
継続	団体貸出	通年	全館	3,383冊（前年度3,631冊）	学童クラブ等の団体への貸出。		
継続	図書宅配サービス	通年	本館	11名35冊・高齢者等 (前年度 10名42冊)	高齢者など図書館来館が困難な市民に対し、図書の貸出や返却を有償で実施する。		
継続	ブックステーション	通年	黄金ふれあいセンター 生涯学習施設かしわの もり	貸出 1,878冊（前年度1,881冊） 貸出 1,078冊（前年度1,056冊）	黄金ブックステーション及びかしわのもりブックステーションの運営。		指定管理者実施事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	おはなし広場	通年	本館 恵庭分館 島松分館	58回 400名・乳児から児童 (前年度 62回 400名) 15回 106名・乳児から児童 (前年度 21回 117名) 24回 85名・乳児から児童 (前年度 24回 106名)	児童奉仕活動の基本的な事業として、絵本の読み聞かせ、紙芝居等を実演。市内の読み聞かせサークルの協力を得て実施している。午前の部は乳幼児、午後の部は幼児～小学校低学年が対象。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用
継続	本館夏のスペシャルおはなし会	7月28日	本館	21名 (前年度 15名)	「読み聞かせの会「知恵袋」」出演の夏休み行事。		指定管理者実施事業
継続	島松分館夏のスペシャルおはなし会	8月3日	島松分館	14名 (前年度 16名)	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理者実施事業
新規	恵庭分館夏のスペシャルおはなし会	8月4日	恵庭分館	11名	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理者実施事業
継続	ハッピーハロウィン 仮装おはなし会 ぬいぐるみおとまり会	10月14日 2月15日	本館	12名 (前年度18名) 19名 (前年度11名)	ハロウィンにちなんだおはなし会 3歳～小学生を対象にぬいぐるみを預かり、図書館内での活躍を写真集にしてプレゼントするイベント		指定管理者実施事業
新規	恵庭分館冬のスペシャルおはなし会	12月7日	恵庭分館	15名	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理者実施事業
継続	島松分館冬のスペシャルおはなし会	12月15日	島松分館	15名 (前年度 16名)	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理者実施事業
継続	クリスマス幻燈会	12月14日	本館	15名 (前年度34名)	読み聞かせボランティア「ばたぼん」によるイベント。		指定管理者実施事業
継続	本館冬のスペシャルおはなし会	1月11日	本館	36名 (前年度37名)	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理者実施事業
継続	BALLOONおはなし会	通年	本館	10回 120名・小中学生から一般 (前年度 10回116名)	洋書絵本の原語による読み聞かせ。児童が異文化に触れ、国際感覚を養うことを目的とする。読み手は図書館職員と市教委ALT。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用
継続	家読（うちどく）推進事業 ・うちどくノート、ブック リストの作成・配布	通年	全館	通年	家庭で同じ本を読み、感想を話し合うことでコミュニケーションを深める「家読(うちどく)」の普及。「うちどくノート」「この本読んだ?ブックリスト2024」の作成・配布。		読書推進事業・学校図書館 活動推進事業及び指定管理 業務
継続	家読（うちどく）講演会 絵本作家かとうまふみさん講演 会～家族で絵本を楽しもう!!～	3月8日	本館	53名	札幌市在住の絵本作家を講師に招き、絵本の面白さを語ってもらうとともに、本を通じた家庭内のコミュニケーション促進を提案する。		読書推進事業・学校図書館活 動推進事業
新規	私家本 自分の本を作ろう ～家族の記録を一冊の本に してみませんか～	4月6日	本館	6名	市内在住の陸野好男氏を講師に招いて実施。		指定管理者実施事業

継続	子ども読書の日記念事業 ＊展示「この本読んだ? 2024」 ＊親子のためのバベツトシアター ＊こども映画会	4月9日～5月6日 4月27日 4月28日	全館 本館 本館	幼児から中学生 62名（前年度60名） 11名（前年度20名）	平成13年12月制定「子ども読書活動の推進に関する法律」で定められた「子ども読書の日」を広く周知。		指定管理者実施事業
新規	プレゼント企画	5月6日 12月21・22日 1月4日 2月8日 4月29日 5月3～6日 7月15日 8月12日 9月16日 9月23日 10月12日 10月14日 10月26・27日 11月4日 12月21・22日 1月13日 5月5・6日 7月14・15日 10月12～15日 11月1～4日 2月22日	本館 恵庭分館 島松分館	計172名 計304名 計79名	祝日開館日に本を5冊借りた子どもに折り紙細工等を配付。		指定管理者実施事業
継続	工作ワークショップ ＊ハッピーマンデーおたのしみ会	8月12日	本館	10名 （前年度3回 45名）	祝日開館周知を目的とした行事。		指定管理者実施事業

新規	*ゲリラミニ工作会	7月6日 7月20日 7月27日 7月30日 8月6日 8月9日 8月13日 9月14日 9月16日 9月23日 3月16日 3月29日	本館	計130名	和光アート教室講師による事前告知なしの工作会。		指定管理者実施事業
継続	大人のためのハンドメイド講座 ～花のワークショップ～	10月5日	本館	5名 (前年度 5名)	図書館の花壇の花を利用した講座。		指定管理者実施事業
継続	えほんのせかいがひろがる！ ニコニコ☆さつえい会	9月8日 2月9日	本館	45名 (前年度 2回41名)	1歳未満の乳児対象とした絵本の世界がテーマの撮影会。		指定管理者実施事業
新規	子ども司書体験講座 ～図書館で本を探そう！～	7月7日	本館	5名	図書館の仕事を体験する子ども向け講座。		指定管理者実施事業
継続	その他実施行事 *恐怖の図書館 ～夜の謎解き図書館～	8月4日	本館	45名 (前年度 39名)	閉館後の図書館での謎解きゲーム等のイベント。		指定管理者実施事業
	*人形劇団クラルテ公演	9月15日	本館	43名 (前年度 56名)	関西の劇団を招いての人形劇公演。		
新規	よしながこうたくさん ライブペイント&サイン会	11月16日	本館	ライブペイント 55名 サイン会 33名	絵本作家を招いたワークショップ。		指定管理者実施事業
新規	としょかんクリスマス市	11月30日 12月25日	本館	ー	クリスマス絵本を集めた展示。		指定管理者実施事業
継続	本の福包	12月26日 ～1月13日	全館	ー	毎年恒例の書名を隠した図書の貸出企画。		指定管理者実施事業
継続	お年玉抽選会	1月5日	全館	203名 (前年度 205名)	雑誌の付録等を景品とした抽選会を開催。		指定管理者実施事業
継続	お正月をあそぼう！	1月13日 1月14日 1月11・12日	本館 恵庭分館 島松分館	77名 (前年度 37名)	すごろくや昔遊び等を楽しむイベント。		指定管理者実施事業
新規	ガチャガチャイベント	2月8日 ～2月16日	島松分館	66名	たくさん本を借りた小学生までの利用者を対象に段ボール製のガチャガチャマシーンを回してもらい、折り紙製の景品をプレゼント。		指定管理者実施事業
継続	ボードゲームで遊ぼう	3月23日	本館	98名 (前年度 110名)	ボードゲームを楽しむイベント		指定管理者実施事業

領域：文化集会事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	上映会の開催 * 大人向け映画会	毎週 水曜日	本館	50回 890名・一般 (前年度 50回887名)	上映許諾済又は著作権が発生していない映画を上映。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用
	* 子ども向け映画会	第2・4 土曜日	本館	22回 75名・児童 (前年度21回100名)			
	* 午前10時の映画会	9月23日 2月24日	本館	一般 17名 (前年度 2回25名)	一般利用者を対象に「未知との遭遇」「影裏」を上映。		指定管理者実施事業
継続	大人のためのお話会	4月10日 7月10日 11月13日	本館	計28名（前年度4回29名）	読み聞かせサークル「青空のたね」による大人対象の事業。		指定管理者実施事業
	大人のための朗読会 ～北海道ゆかりの文学を読む～	10月27日	本館	34名 (前年度48名)	朗読の会「北こぶし」による大人対象の事業。		指定管理者実施事業
新規	夏の作品発表会	募集期間 7月11日 ～7月31日 展示期間 8月1日 ～8月31日	全館	－	図書館の本を参考に作った利用者の作品を本と共に紹介。		指定管理者実施事業
継続	その他実施行事（展示） ・写真展（陸野好男氏） 4月2日～12日	通年	本館ギャラリー	一般	市内で文化活動が続けている個人、団体の発表の場。		指定管理者実施事業
	・山本紘正絵画教室展 4月16～30日						
	・絵画サークル えのぐ箱 小品展 5月2～12日						
	・春の石膏デッサン展 5月17～30日						
	・フォトクラブ写遊 写真展 6月1日～9日						
	・水彩画展示会 6月18～27日						
	・原爆パネル展 8月1～15日						
	・花とも写真展2023 8月20～29日						
	・絵画展（島松絵画同好会） 9月13～26日						

	・よしながこうたく 絵本原画展 9月28日～10月24日 ・写真展（ヤッフオート） 11月1～10日 ・野鳥写真展 11月12～24日 ・美術協会図書館小品展 12月3～15日 ・とるまりんちゃんの花園 12月17～28日 ・恵庭書道連盟「書初め展」 1月21～25日 ・本のショーウィンドー 2月4～16日						
継続	・夏休み水彩画教室	8月17日	本館	一般 13名 (前年度20名)	市内在住の画家・山本紘正氏を講師として迎えた事業。		指定管理者実施事業

領域：障がい者等サービス

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	障がい者サービス ＊ 図書の音訳	通年	本館	0件・障がい者 (前年度 0件)	恵庭市朗読赤十字奉仕団による図書の音訳。		指定管理者実施事業
	＊ 郵送貸出	通年	本館	0名・障がい者 (前年度 0名)	視力に障がいを持つ方への録音図書や点訳図書の郵送貸出。		
	＊ 対面朗読サービス	第2・4 水曜日	本館	11件・障がい者 (前年度 0件)	恵庭市朗読赤十字奉仕団の協力により、視覚障がい者への対面朗読を実施。		
	＊ サビエ図書館	通年	本館	9名 38冊・障がい者 (前年度 1名 10冊)	視力に障がいをお持ちの方へ、サビエ(日本点字図書館のシステム)が持つデージーデータ等のダウンロードと提供を行なう。		

領域：図書館広報事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	図書館活動のPR * 図書館だより	毎月		毎月	図書館活動のPR紙の発行。		指定管理者実施事業
	* ホームページ・Facebook	通年		通年	図書館の行催事やお知らせ、図書館活動を掲載。		
	* 図書館要覧の作成	5月		5月	図書館の各種利用状況をまとめた年報を作成。		

領域：学校へのサービス

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	小中学校への支援 * 総合学習への支援	通年		1件 91名 (前年度 0名)	総合学習、調べ学習のための図書館団体利用の受入。		指定管理者実施事業
	* 職業体験の受入 ・実習生受入	通年		3名 (前年度 2名)	大学の図書館司書課程を履修している学生の実習受入。		
	・体験学習	通年		2件 8名 (前年度 3件 25名)	図書館司書業務の体験学習の受入。		
	・団体利用受入	通年		660名 (前年度 854名)	幼稚園、小学校等の見学など団体利用の受入。		
	* 団体貸出 ・学校への総貸出	通年		7,933冊・小中学生 (前年度 8,913冊)	学級文庫・児童生徒教職員への貸出・学校図書館での特集コーナー等、公共図書館から各小中学校へ貸出を行った冊数の総数。		
	・学級文庫	通年		7,383冊・小中学生 (前年度 8,253冊)	前項のうち、各小中学校の学級内において利用する「学級文庫」への貸出分。		
継続	高校ブックライン事業	通年	恵庭北高校 恵庭南高校 北海道文教大附属高校	貸出 4冊 (3冊) 貸出 64冊 (84冊) 貸出 3冊 ※1月試行開始	市立図書館の予約図書を高等学校図書館で手軽に受け取ることのできる事業。		指定管理者実施事業

領域：協働連携事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	全市的読み聞かせ活動の推進 * 幼稚園や保育園での 読書活動推進 ・ 幼稚園・保育園 巡回読み聞かせ	通年	市内幼稚園等	3,282名 (前年度4,349名)	図書館で読み聞かせを行っているボランティアが市内幼稚園等を訪問する。		指定管理者実施事業
継続	恵庭まちじゅう図書館 事業の推進	通年		30館 (前年度42館)	人とまちを育む読書条例制定を機に開始した事業。市内の様々なカフェやオフィスなどに店主や社員などのお気に入りの本を展示し、訪れた人と本の会話を楽しむ読書コミュニティ事業。		読書推進事業
継続	ブックスタート事業 * ブックスタート	毎月1回	えにあす	9・10カ月児と親 12回 356部 (前年度 12回 403部)	乳児期における利用サービスの取り組みとして、9・10ヶ月児健診に参加した絵本・絵本ガイドなどが入った「ブックスタートバック」をプレゼントする。		指定管理者実施事業
	* ブックスタートプラス	毎月1回	えにあす	1歳6カ月児と親 12回 386部 (前年度 12回 452部)	家庭での読書環境の継続と充実を図るため、1歳6ヶ月児健診に参加した親子に絵本1冊と絵本ガイドをプレゼントする。		
継続	図書館開館24時	11月2日	本館	309名 (前年度236名)	市民との協働で実行委員会を組織。図書館を深夜まで開館し、音楽会などの催しを実施。		
継続	としょかんまつり	10月12日	本館	—	ステージ等、様々な行事を実施。		
継続	本のリサイクル市	5月26日 10月6日	本館	—	市民から提供のあった不要本の再活用を目的に開催。		指定管理者実施事業
新規	フラワーサポーター ・ 会議 ・ 植栽 ・ 除草 ・ 撤去作業(10/30)	5月16日 6月6日 6月19日 7月3日 7月24日 8月7日 8月21日 9月4日 9月18日 10月2日 10月16日 10月30日	本館	計49名	図書館の花壇整備をボランティアで実施。		指定管理者実施事業

新規	ガーデニングワークショップ	5月23日 6月26日 8月1日 10月19日 11月7日	本館	計35名	図書館本館前庭花壇を会場としたガーデニングのワークショップ。		読書推進事業
新規	丸花壇のお花差し上げます	10月26日	本館	一	丸花壇撤去に伴う市民への花の配付。		指定管理者実施事業
継続	としょかんまつり装飾展示	9月28日 ~10月31日	本館	一	読み聞かせサークル「おもちゃばこ」による玄関装飾。		指定管理者実施事業
継続	司書の派遣	通年		11名 (前年度5名)	事例報告や講習会講師等。		指定管理者実施事業

領域：学校図書館事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	学校図書館活動の推進	通年					学校図書館活動推進事業
	* 学校における読書活動			全13校	「ブックリスト」の配付。		
	* 図書の共有化推進	通年		498冊 (前年度514冊)	児童生徒の求めにより、公共図書館の図書を学校図書館を通して貸出を行う。		
	* 司書教諭・学校司書の研修会開催	7月9日 11月19日	本館	計44名 (前年度2回46名)	司書教諭と学校司書の連携、学校図書館活動の理解を深める。		
	* 朝読・家読の推進	通年		全13校	「うちどくノート」の配付。		
	* 調べる学習コンクール ・開催・作品募集	8月27日 ~9月17日		451名・450作品 (前年度 298名・292作品)	図書館を利用した調べ学習の推進。		
	・調べる学習講習会	7月31日	本館	8名・小学生等 (前年度1名)	「小中学生調べる学習コンクール」に向け、小学生を対象に調べ学習のポイントや調べ方のコツを説明。		
	* 学校図書館活動推進協議会	通年		通年	学校間のネットワーク化と学校図書館活動の充実・支援を図る。		
	* 物語定期便	通年		計13セット（各30冊）を学校間巡回	物語や科学を楽しむための本を各小中学校に定期的巡回を行う。		

【郷土資料館】

領域：郷土資料館

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
新規	遺跡発掘調査成果展 ～令和3年度・令和4年度の発掘調査～	4月20日 ～6月16日	郷土資料館	2,118名（小中学生355名）	令和3年度・令和4年度に実施した遺跡の発掘調査について、縄文土器などの出土品の実物や調査風景の写真を展示。	5	
継続	カリンバ土曜講座①	4月20日	郷土資料館	27名 (前年度21名)	演題：「恵庭の遺跡と発掘調査～ユカンボシ川流域の遺跡を中心に～」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 鈴木 将太	1	
継続	昔の道具体験コーナー	4月27日 ～5月6日	郷土資料館	自由参加事業	収蔵資料の中から唐箕、石臼、竿ばかり等の資料を実際に動かし、体験する。	0	
新規	自然観察会	5月18日	黄金地区 カリンバ遺跡とその周辺	16名（小中学生1名）	国指定史跡カリンバ遺跡とその周辺の野鳥を中心に観察し、あわせてカリンバ遺跡について学習する。	5	
継続	第2回千歳・恵庭の遺跡を歩こう キウスVSカリンバ編	5月26日	カリンバ遺跡群とキウス周堤墓群	30名 (前年度17名)	恵庭市と千歳市の遺跡をウォーキングしながら、両市の遺跡調査員の解説を聞く。	1	
継続	第11回カリンバ講演会	6月8日	市民会館	70名 (前年度35名)	演題：「北海道の縄文・続縄文社会とカリンバ遺跡」 講師：北海道大学 教授 高瀬 克範氏	5	
継続	カリンバ土曜講座②	6月15日	郷土資料館	35名 (前年度21名)	演題：「令和4年度に行われた柏木川9遺跡の発掘調査について」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 長町 章弘	0	
継続	第2回アイヌ文化講演会	6月22日	市民会館	74名 (前年度59名)	演題：「松浦武四郎が記録した恵庭のアイヌ文化」 講師：文化庁 調査官 内田 裕一氏	5	
継続	アイヌ文化マスター育成事業	①6月30日 ②7月14・15日 ③9月8日 ④10月20日 ⑤11月9日・10日 ⑥12月8日 ⑦1月19日 ⑧2月2日	郷土資料館 釧路市等 郷土資料館 郷土資料館 函館市等 白老町 厚真町 郷土資料館	毎回6名(小中学生6名) (前年度毎回6名)(中学生6名)	市内に在住する小中学生のうち公募した6名が、計8回の講座や体験でアイヌ文化を学ぶ。	1,365	
新規	コレクション展「鈴蘭窯展」	7月6日 ～8月25日	郷土資料館	1300名(小中学生403名)	昭和55年、郷土恵庭に根差した器を創ろうと開業した「鈴蘭窯」で制作された花器や皿、湯呑み茶碗等の陶器約80点を展示。	0	
継続	「第11回 カリンバまつり」	7月27日	郷土資料館	224名(小中学生約6割) (前年度23名)	市民を公募し、勾玉作り、縄文土器作り等を実施。	48	
新規	ムックリ製作体験事業	7月27日	郷土資料館	15名	市民を公募し、恵庭アイヌ協会長を講師としてムックリ作りを実施。	10	

継続	粘土で土笛づくり体験	7月31日	郷土資料館	20名(小中学生14名) (前年度15名)	郷土資料館ボランティア事業。粘土で土器を作っていた大昔の人の生活の一端を体験してみようと、粘土で土笛づくりを体験。	0	
継続	常設展示室入替展 「戦争資料展」	8月1日 ～8月29日	郷土資料館	619名(小中学生192名) (前年度 372名)	常設展示室「昭和コーナー」を一時撤収し、市民より寄贈を受けた戦争関連資料約70点を展示。	0	
継続	クイズ&スタンプラリー2024	8月1日 ～18日	郷土資料館	119名(小中学生119名)	夏休み事業。館内のスタンプを押し、コレクション展「鈴蘭窯展」に関するクイズに正解するとガチャ機から同展展示資料の缶バッチが当たる。		
継続	漁川の生きもの観察会	8月3日	漁川あかね橋上流むつみ公園駐車場付近	13名(小中学生8名) (前年度6名)	漁川に生息する魚や水生昆虫を投網、たも網で捕獲し、観察を行う。	0	
継続	アイヌ文化学習見学会事業	8月24日	白老町等	31名(小中学生1名) (前年度35名)	市民を公募し、白老町と登別市の博物館等で現地学芸員の解説を受けて、アイヌ文化を学ぶバスツアーを実施。	120	
継続	古里チョイ散歩	8月24日 ～9月21日	市道恵庭線	10名(小中学生 0名) (前年度4名)	郷土資料館ボランティア事業。市道恵庭線沿いの歴史的にゆかりのある場所をボランティアが説明しながら散策。	0	
新規	企画展「西島松5遺跡出土品重要文化財新指定記念写真展」	9月11日 ～10月14日	郷土資料館	744名(小中学生104名)	令和6年度に新たに重要文化財に指定された西島松5遺跡出土品の写真、またそれらが出土したお墓の写真や図などを展示。	15	
継続	企画展「特別公開2024 カリンバ遺跡重要文化財 漆塗り装身具展」	9月21日 ～23日	埋蔵文化財整理室	195名(小中学生11名) (前年度91名)	年に1度、カリンバ遺跡の大型合葬墓3基から出土した漆塗り装身具の実物を公開・展示する。同時に市内遺跡ミニ展示「恵庭の遺跡から出土した縄文時代の玉類」も行った。	3	
継続	カリンバ土曜講座③	9月28日	郷土資料館	24名 (前年度13名)	演題：「昭和11年 恵庭村民の大演習」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 大林 千春	0	
継続	黒曜石カービング体験	10月12日	はなふる	14名(小中学生10名) (前年度23名)	郷土資料館ボランティア事業。大昔の石器の材料として知られる黒曜石のかけらにガラス工芸用のペンで模様や文字を描く。	0	
新規	西島松5遺跡出土品重要文化財新指定記念出土品展	10月19日 ～12月15日	郷土資料館	1,400名(小中学生310名)	令和6年度に新たに重要文化財に指定された西島松5遺跡出土品の実物(金属製品と土器)、またそれらが出土したお墓の写真や図などを展示。	10	
継続	カリンバ土曜講座④	11月30日	郷土資料館	21名 (前年度15名)	演題：「恵庭市内の石碑と保存について」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 杉浦 正和	0	
新規	西島松5遺跡出土品重要文化財新指定記念講演会	12月7日	市民会館	88名	演題：「西島松5遺跡の意義とその背景」 講師：北海道大学アイヌ・先住民研究センター 准教授 養島栄紀氏	21	
新規	コレクション展「道具のうつりかわり」	1月4日 ～2月2日	郷土資料館	434名(小中学生 98名)	昔から日常的に使用されてきた炊飯、洗濯、暖房等、生活用具の変遷を郷土資料館収蔵資料でつないで紹介。	0	

継続	学芸員による展示解説	①5月17日 ②6月15日 ③7月20日 ④8月23日 ⑤9月8日 ⑥10月20日 ⑦11月30日 ⑧12月13日 ⑨1月18日 ⑩2月2日 ⑪3月14日	郷土資料館	9名 21名 14名 5名 8名 40名 44名 18名 45名 22名 16名	テーマ:「令和3年度調査のユカンボシE1遺跡をメインとした遺跡の解説」、担当:鈴木 テーマ:「令和4年度調査の柏木川9遺跡をメインとした遺跡の解説」、担当:長町 テーマ:「恵庭の歴史概要～島松軟石」、担当:大林 テーマ:「史跡カリンバ遺跡をメインとした遺跡の解説」、担当:長町 テーマ:「市内の遺跡から出土した遺物を保存科学の視点で解説」、担当:杉浦 テーマ:「西島松5遺跡出土品を保存科学の視点で解説」、担当:杉浦 テーマ:「重要文化財新指定の西島松5遺跡をメインとした遺跡の解説」、担当:長町 テーマ:「史跡カリンバ遺跡などの遺跡の解説」、担当:鈴木 テーマ:「恵庭の歴史概要～漁太の船着場はどこにあったのか?」、担当:大林 テーマ:「市内の遺跡から出土した遺物を保存科学の視点で解説」、担当:杉浦 テーマ:「史跡カリンバ遺跡などの遺跡の解説」、担当:鈴木	2	
継続	ひな人形展	2月8日 ～3月9日	郷土資料館	773名(小中学生257名) (前年度1,030名)	市民より寄贈を受けた明治～平成までのひな人形9組を展示。	0	
新規	アイヌ文化マスター育成事業成果展	3月15日 ～4月13日	郷土資料館	251名(小中学生76名) (3月末)	令和6年度、アイヌ文化マスター育成事業に参加した小中学生6名が学んだことを、写真と感想文を使用して公開する。	0	
継続	ふるさと教育宅配事業	6月 ～10月	市内小学校	市内小学校全児童	郷土資料館収蔵資料の内、学校・お店・家の中で使う道具とアイヌ民族資料を市内の8小学校に貸出し、巡回して展示を行う。	29	

令和6年度 恵庭市教育委員会 社会教育事業報告

令和7年5月作成版

編集 恵庭市教育委員会

教育部社会教育課

〒061-1498 恵庭市新町10番地

TEL 0123-33-3131 内線1711、1712

E-mail : syakaikyoiiku@city.eniwa.hokkaido.jp
